

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | 3 | 2 | プログラムによっては、より広いスペースがあれば良いと思います。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | | 送迎面、プログラム提供面で+1名職員がいたら手厚い支援になるかと思えます。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | | | 玄関の多少の段差以外はバリアフリーとなっています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 5 | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | | | 2月に満足度調査を実施し、率直な意見を聞き、支援につなげられるようにしています。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | | | ホームページに公開しています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 5 | | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 5 | | | 現在基本ツールを使用し活用している。アセスメントを生かした個々の自立度カードを導入しています。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | | | 個別で行う活動・集団で行う活動が組み合わせたプログラムを提供しています。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5 | | | 振り返り内容も不在スタッフに伝達し、日報ノートで共有。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 5 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 5 | | | 主に児童発達管理責任者が出席しています。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 5 | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | 5 | 医療的ケア児の必要な方の受け入れは現在は無し。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 4 | | 相談事業所からの情報提供を得ています。必要に応じて対応方法など適宜確認。契約書や重要事項にも記載し同意を得ています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 5 | | | 相談員の方と連携を取り、支援内容の共有を行うことはできています。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 5 | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 5 | | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 5 | | | 代表が行っています。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 送迎時の申し送りやLINEを活用し、情報共有を行うことができています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 5 | | | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | | | 契約時に児童発達管理責任者から説明を行っています。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 5 | | | 保護者交流会などイベントを年に数回設けています。今後は事業所外の方たちも含めて交流する機会を提供していきたいです。 |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|
| 非常時等の対応 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | | 苦情になる前の段階で対応が出来るように、意見等を述べやすい環境を整えています。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | | 毎月発行しています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | 個人情報については、鍵のかかる部屋に保管をしている。また、広報紙等やSNS等の顔写真掲載については、毎年4月に意向調査を行い、それに基づき掲載するようにしています。 |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | | 障害特性に応じたコミュニケーション方法を取り入れています。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 5 | | |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | | 定期的に避難訓練を行っています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 5 | | 身体拘束の必要性をご家族と確認し、児童発達管理責任者と職員の判断のもと必要な場合は実施しています。支援計画書にも記載しています。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 5 | | 受け入れ時に、アレルギーの有無を確認し、書面にて提出をお願いしています。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | |